



# 財産目録

(平成●●年●●月末日現在) 報告基準日

※ 未成年者の誕生月の前月末日を上記に記入し、同時点の状況を以下にご記入ください。

平成●●年●●月●●日

未成年後見人 ●●●●●

印

## 1 預貯金・現金

未成年者の財産の内容は以下のとおりです（通帳については、上記報告基準日以降に記帳し、表紙部分、見開き部分、前回提出時以降の取引履歴をコピーした上で添付してください。）。

金融機関の名称	支店名	口座種別	口座番号	残高（円） （報告基準日時点での残高）	記帳を確認した日	名義人	管理者	資料番号
●●銀行	△△支店	普通	●●●●●	862,356	●.●.●	未成年者	未成年後見人	10
●●銀行	△△支店	定期	●●●●●	5,000,000	●.●.●	未成年者	未成年後見人	11
■●銀行	□□支店	普通	●●●●●	12,987	●.●.●	未成年者	未成年後見人	12
					.			
					.			
					.			
現金				30,000				
施設等預入金（預入先：）								
合計				5,905,343				
前回報告時の合計額				4,983,476				

## 2 有価証券関係（株式、投資信託、公債、社債など）

未成年者の財産の内容は以下のとおりです（その存在を示す資料（直近の運用実績報告書等）の写しを添付してください。評価額については、運用実績報告書等の額を記載してください。）。

種類	銘柄等	数量	評価単価	評価額（円）	取扱金融機関	名義人	管理者	資料番号
株式	●●電器(株)	100株 口	300円	30,000円	■●証券	未成年者	未成年後見人	13
投資信託	●●オープン	株 50口	700円	35,000円	■●信託銀行	未成年者	未成年後見人	14
		株 口						
		株 口						
		株 口						
		株 口						
合計				65,000円				

以下の財産（負債を含む。）のうち、

- ① 前回報告から変化がない項目については、左側の口にし点を入れてください。
- ② 前回以降にその内容に少しでも変化があった項目については、右側の口にし点を入れてください。この場合は、前回までに報告したものも含め、改めて現在の財産の内容を別紙にお書きいただき、内容に変化があったことが分かる資料を添付してください。

3 不動産（土地，建物）

- 前回報告から変わりありません。  未成年者の財産の内容は別紙のとおりです。

4 保険契約（未成年者が契約者又は受取人になっているもの）

- 前回報告から変わりありません。  未成年者の財産の内容は別紙のとおりです。

5 債権（貸付金など）

- 前回報告から変わりありません。  未成年者の財産の内容は別紙のとおりです。

6 負債

- 前回報告から変わりありません。  未成年者の負債の内容は別紙のとおりです。